

G-MEN (JVQ-326DSH,JVQ-377DSH)での磁気検出不具合

不具合内容:

G-MEN スタートモードでマグネットを使用した場合に、磁気検出が誤作動する。

経緯:

G-MEN シリーズの磁気センサは、NEC 製 MRSS22 を使用していたが、同社が製造を中止し、株ムラタに製品が移管され、型式が MRMS211M と改められた。互換品とされていたが、結果としては、細部の微妙な性能が異なっていた。また、MRSS22 に比べて、MRMS211M は仕様書外性能のバラつきが大きく、当社の初期の評価過程では発症せず、現在に至った。

原因:

センサの瞬時的消費電流が NEC 製より大きくなっていることと、固有の動作タイミングが他の要素と偶然重なったところで誤作動信号が生じている。

対策:

G-MEN のファームウェアを 13193 に更新する。

このファームウェアでは、マグネットの検出方法を、一回確認から、三秒間連続確認に変更し、誤作動信号を回避するようにした。

ファームウェアの更新方法

GMEN はファームウェア更新手順を備えています。専用のツールで対策版である 13193 に更新することによって問題を解決します。

以上